

果物(ぶどう・もも・いちご・梨・柿)の輸出



平成28年の果物の輸出金額は全国、近畿圏ともに過去最高！！



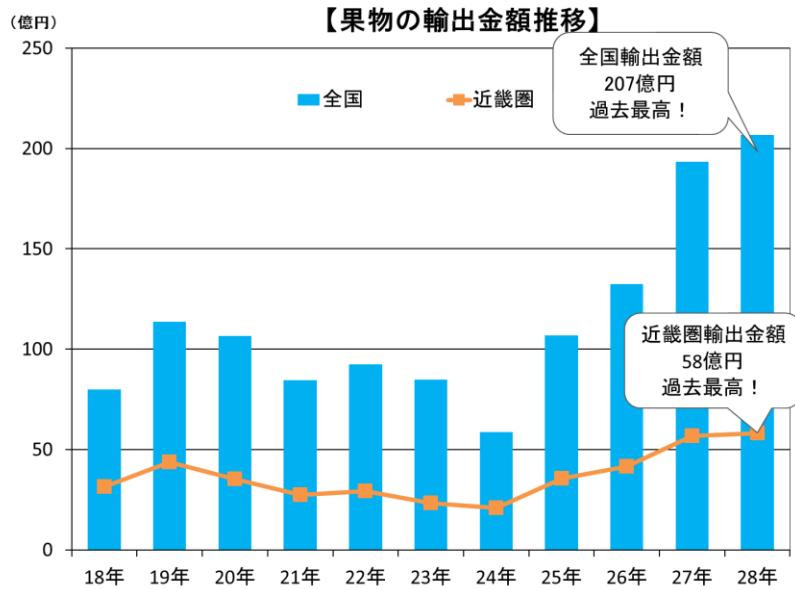
ぶどう、もも、梨、柿の輸出金額シェアは近畿圏が第1位！！



輸出先は香港、台湾などアジアを中心！！

○はじめに

近年、農林水産物・食品の輸出促進への取り組みが官民一体となつて行われているところですが、平成28年の全国の果物の輸出は初めて200億円を超え、過去最高となりました。近畿圏からの輸出も過去最高の58億円となりました。



過去、近畿圏から輸出の多い果物のうち、大阪税関が「ぶどう」「もも」「いちご」について、神戸税關が「梨」「柿」について特集しました。

今回はそれらの果物のその後の動向をまとめてみました。

(注1)本特集における「果物」、「ぶどう」、「もも」、「いちご」、「柿」、「梨」は以下の輸出統計品目表に分類されるものを集計したものです。

「果物」 第8類(食用の果実及びナット、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮)、「ぶどう」 0806.10-000(ぶどう-生鮮のもの)

「もも」 0809.30-000(桃(ネクタリンを含む。))、「いちご」 0810.10-000(ストロベリー)

「梨」 0808.30-000(梨) 旧品目番号0808.20-000(なし及びマルメロ)、「柿」 0810.70-000(柿) 旧品目番号0810.90-100(かき)

(注2)本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。

「近畿圏」：大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山、「首都圏」：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨

「中部圏」：愛知、岐阜、三重、長野、静岡、「九州圏」：福岡、山口、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄



ぶどう(生鮮)の輸出

統計品目番号0806.10-000

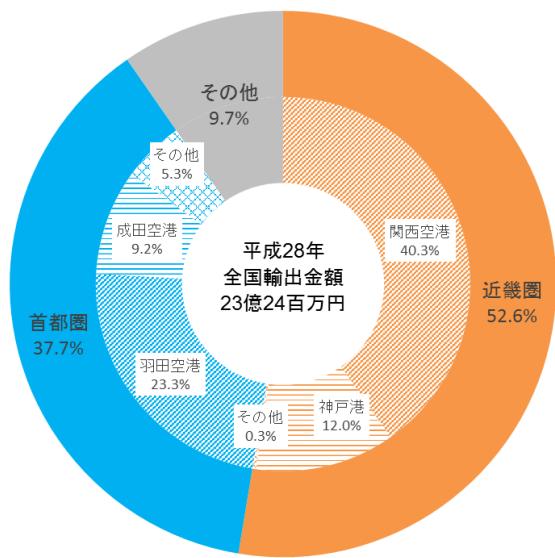


【経済圏・港別 輸出金額シェア】

平成28年の近畿圏からのぶどうの輸出金額の全国シェアは52.6%となり、経済圏別で第1位となりました。

近畿圏の中では関西空港が全国シェア40.3%で港別で第1位、神戸港が12.0%で第3位となっています。

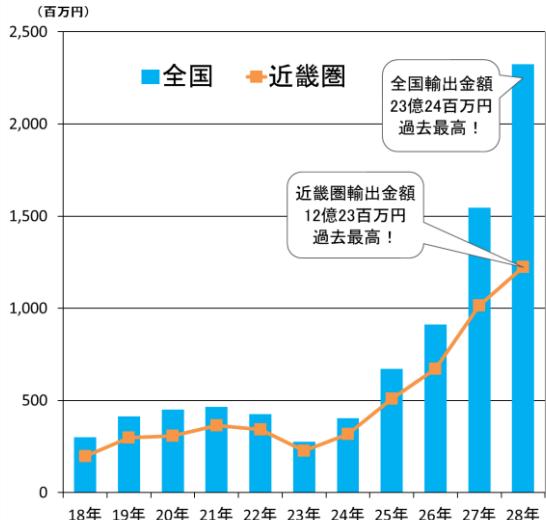
業界によると、近畿圏から輸出されるぶどうの主な産地は岡山県、長野県、山梨県などだそうです。



【輸出金額推移】

平成28年の全国からのぶどうの輸出金額は23億24百万円となり過去最高を更新しました。これは10年前の平成18年と比べ約8倍となっています。

近畿圏からの輸出金額も過去最高となる12億23百万円となりました。

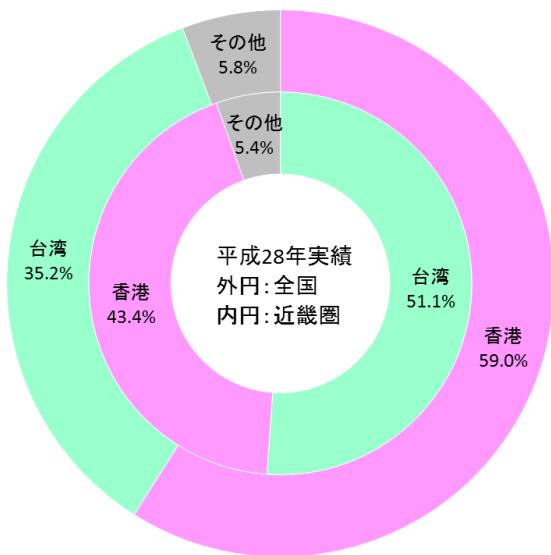


【国別輸出金額シェア】

平成28年の輸出国別シェアは、全国では第1位が香港で59.0%、第2位は台湾で35.2%となりました。

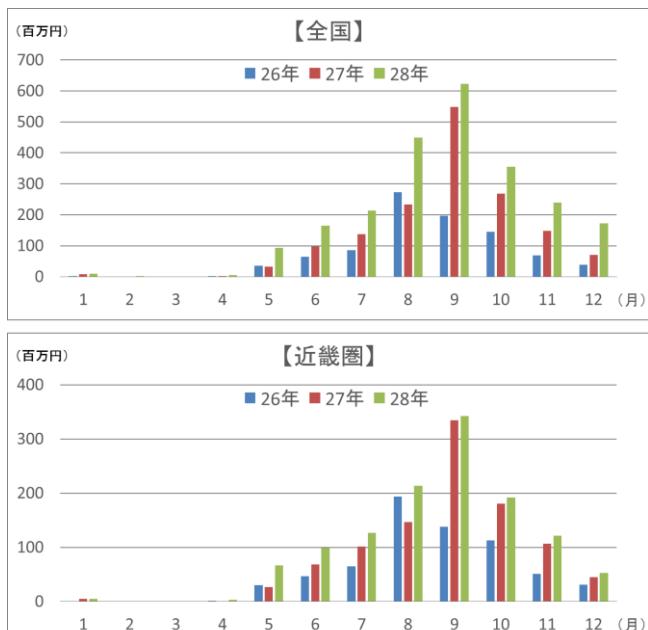
近畿圏では第1位が台湾で51.1%、第2位が香港で43.4%となっています。

全国、近畿圏ともに香港、台湾の二か国で全体の9割以上を占めています。



【月別輸出金額動向】

過去3年間の月別輸出金額の動向を見ると、ぶどうが旬を迎える9月をピークに夏から秋にかけての輸出が多くなっています。



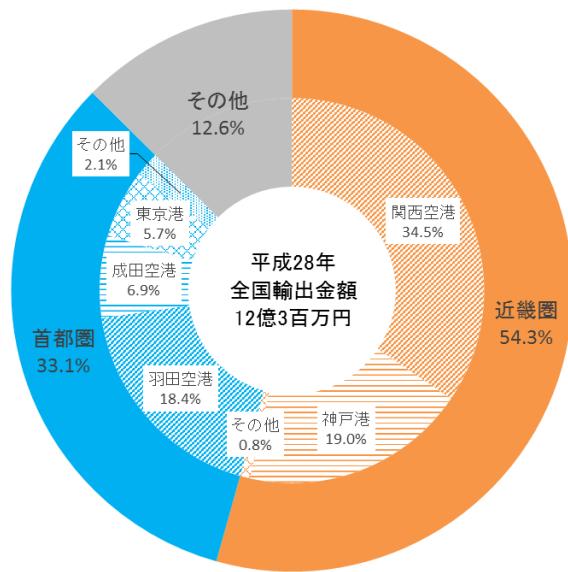
もも(生鮮)の輸出
統計品目番号0809.30-000

【経済圏・港別 輸出金額シェア】

平成28年の近畿圏からのももの輸出金額の全国シェアは54.3%となり、経済圏別で第1位となりました。

港別シェアでは関西空港が全国シェア34.5%で港別で第1位、神戸港が19.0%で第2位となっています。

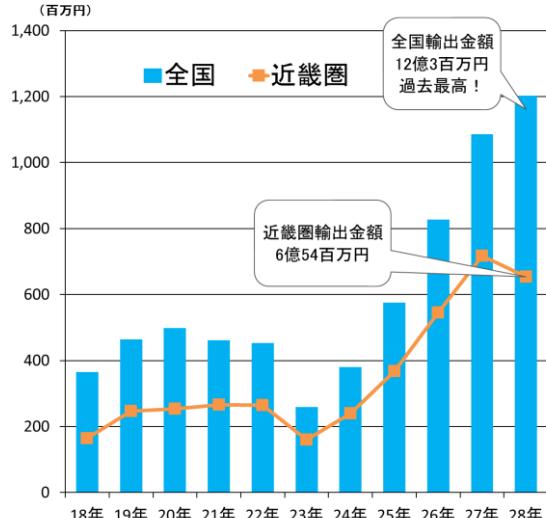
業界によると、近畿圏から輸出されるももの主な产地は和歌山県、岡山県、長野県、山梨県、山形県などだそうです。



【輸出金額推移】

平成28年の全国からのももの輸出金額は12億3百万円となり過去最高を更新しました。これは10年前の平成18年と比べ約3倍となっています。

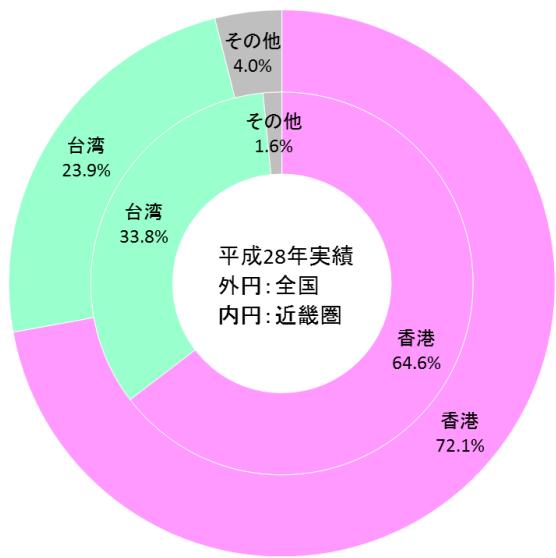
近畿圏からの輸出金額は前年の平成27年と比べ若干減少しましたが、歴代2位となる6億54百万円となりました。



【国別輸出金額シェア】

平成28年の輸出国別シェアは、全国・近畿圏とともに香港が第1位、台湾が第2位となっています。

全国、近畿圏ともに香港、台湾の二か国で全体の9割以上を占めています。



【月別輸出金額動向】

ももの過去3年間の月別輸出金額の動向を見ると、やはり旬である夏の7～9月の3か月間に集中していることがわかります。

